

平成22年12月1日

県内の事故危険区間リスト作成で意見交換

～ 岐阜県内の直轄国道の“事故危険区間”を明らかにします ～

効率的・効果的な交通事故防止対策の実施に向け、第2回安全調査部会^{*2}を開催

1 お知らせ内容

平成22年度第2回岐阜県道路交通環境安全推進連絡会議「道路交通環境安全調査部会」^{*1}において岐阜県ブロック「成果を上げるマネジメント」(交通安全分野)の取組みについての会議を開催いたします。

(平成22年度第2回道路交通環境安全調査部会)

開催時期 平成22年12月3日(金) 15:00～17:00

開催場所 国土交通省岐阜国道事務所 新電気室1階会議室
(岐阜市茜部本郷1-36-1)

本趣旨は、交通事故対策への投資効果を最大限高めるため、**事故の危険性が高い特定の区間を明確化(事故危険区間リストの作成)**し、この区間の事故原因に即した効果の高い対策案の検討・対策の実行をし、対策後の効果を評価、さらに改善をしていく(マネジメントを行う)ものです。

【会議の内容】

- ・事故データに基づく選定箇所と地方公共団体や地域住民からの意見に基づく選定箇所を統合した事故危険区間リスト(案)について意見交換を行います。

*1:平成22年度第2回道路交通環境安全調査部会

2 資料 別紙

3 解禁 指定なし

4 配布先 岐阜県政記者クラブ

5 取材等 会議は、冒頭のみ撮影可。議事は非公開。
議事要旨などはホームページ上で公開します。

6 問合せ先 岐阜国道事務所 交通対策課長 伊東義人 TEL:058-271-9828
多治見砂防国道事務所 道路管理課長 林 文弘 TEL:0572-25-8027
高山国道事務所 管理第二課長 戸田美紀夫 TEL:0577-36-3824

岐阜国道事務所 岐阜市茜部本郷1-36-1
HPぎふこくナビ <http://www.cbr.mlit.go.jp/gifu/>

岐阜の道 = 岐阜の暮らしを支えます

「道路交通環境安全調査部会」部会員名簿

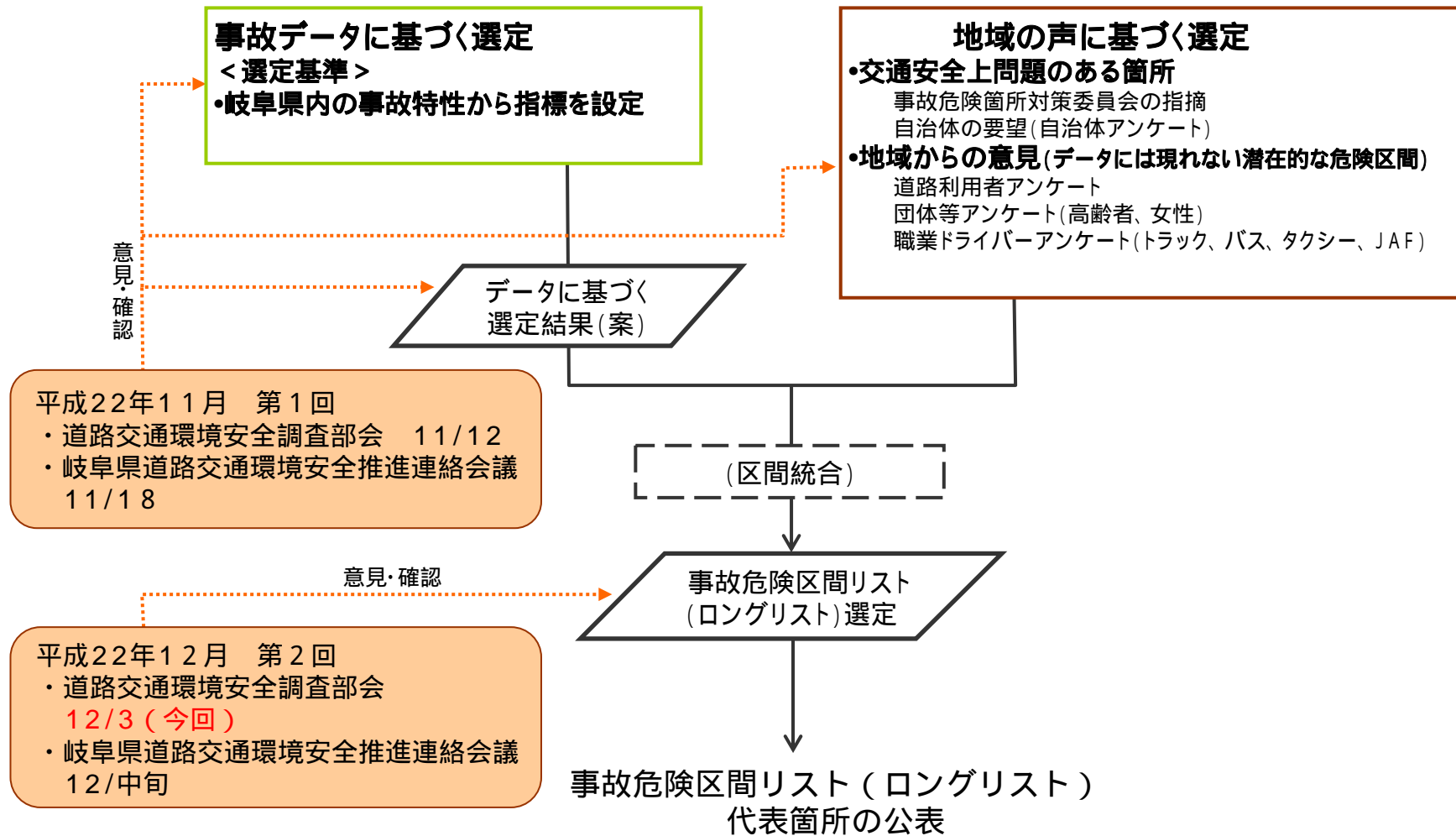
区 分	役 職 名
学 識 経 験 者	関西大学環境都市工学部教授 秋山 孝正 朝日大学法学部教授 原 政敏
岐阜県警察本部	交通規制課課長補佐 交通規制課課長補佐
国 土 交 通 省 中部地方整備局	岐阜国道事務所副所長 岐阜国道事務所交通対策課長 多治見砂防国道事務所道路管理課長 高山国道事務所管理第二課長
岐阜県環境生活部	環境生活政策課課長補佐

その他、必要に応じて部会長が指名した者

岐阜県警察本部	交通企画課課長補佐
中日本高速道路 (株)名古屋支社	交通技術チームサブリーダー 羽島保全・サービスセンター総務企画(企画)担当課長 多治見保全・サービスセンター総務企画(企画)担当課長 岐阜保全・サービスセンター総務企画(企画)担当課長 高山保全・サービスセンター総務企画(企画)担当課長
岐阜県県土整備部	道路建設課課長補佐 道路維持課課長補佐

1. 今年度の取り組み内容

岐阜県内の直轄国道を対象に、事故データおよび地元からの意見に基づき交通安全上の課題のある区間(事故危険区間)を選定・公表。

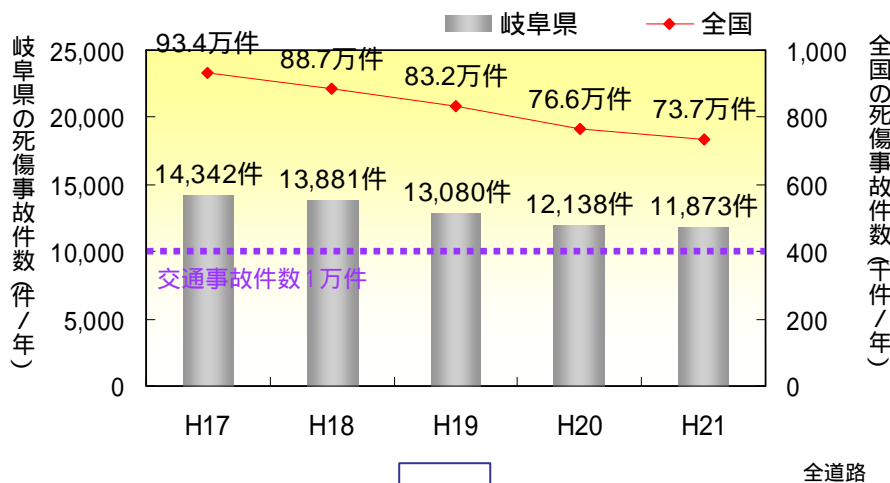


【今年度の取り組みの流れ】

2. 岐阜県の交通事故特性

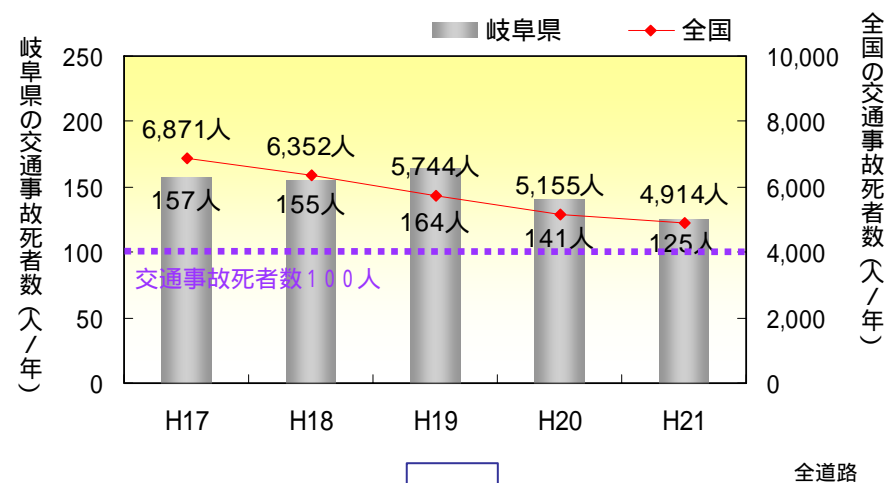
死傷事故件数は減少傾向にあるものの依然として年間1万件以上発生。
交通事故死者数についても、ここ2年間は減少しているが、未だ年間100人以上の方々が交通事故の犠牲に。

死傷事故件数の推移(岐阜県・全国)



死傷事故が多発する区間
への対応が必要

交通事故死者数の推移(岐阜県・全国)



死亡事故および死亡に繋がる
重大事故への対応が必要

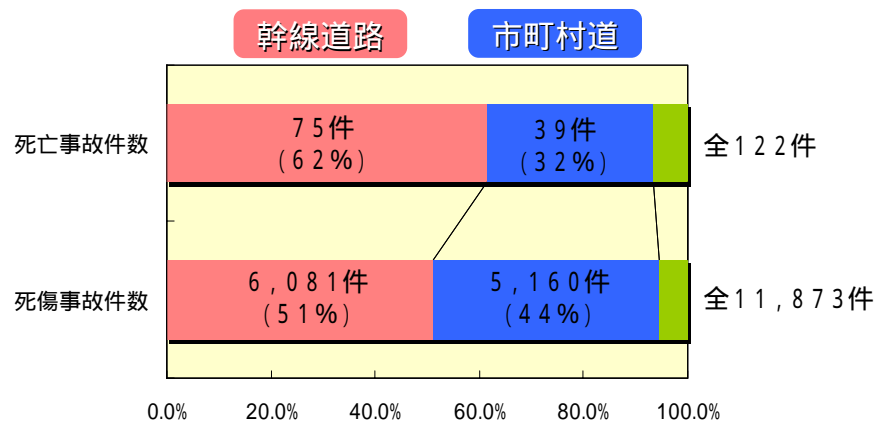
出典:交通事故統計年報(H17~21)

死傷事故と重大事故への取り組みを並行して実施

2. 岐阜県の交通事故特性

岐阜県で発生する死傷事故の半数、死亡事故の6割は幹線道路で発生。
幹線道路上で発生する事故は特定の区間に集中して発生。

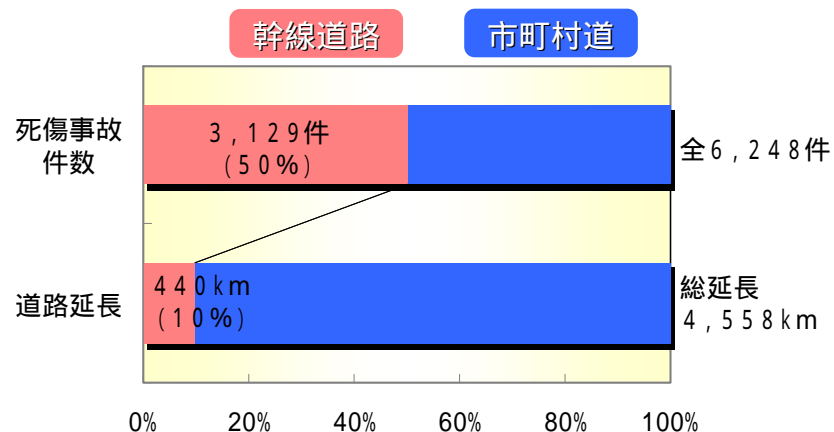
道路別事故件数(死傷、死亡) :平成21年



死傷事故の半数、死亡事故の6割は
幹線道路上で発生

出典: 交通事故統計年報(H21)、道路統計年報(H21)

幹線道路における交通事故の集中 :平成20年



死傷事故の半数は延長比で1割
の区間に集中して発生

出典: 交通事故統合データベース(H20)

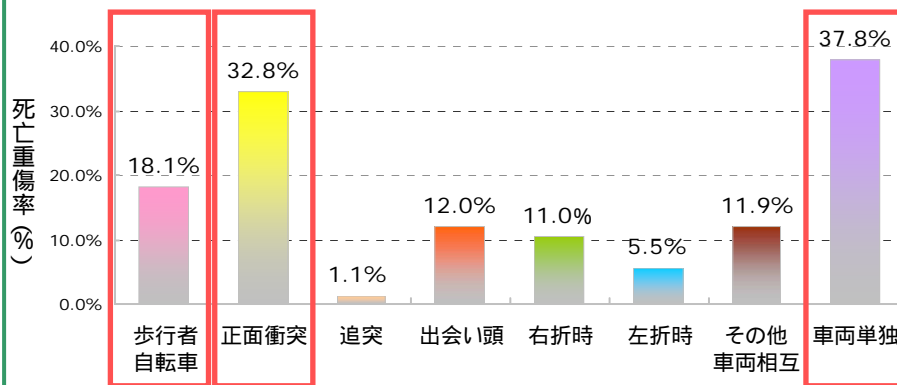
事故が集中する幹線道路の特定区間への取り組みを実施
(今年度は、国が管理する国道を対象に試行)

2. 岐阜県の交通事故特性

重大事故(死亡事故、重傷事故)に特に至りやすい事故類型は、**車両単独事故(死亡重傷率 約4割)**、**正面衝突事故(約3割)**、**人対車両事故(約2割)**。
当事者では、**高齢者が関与する事故は死亡重傷率が高い。**

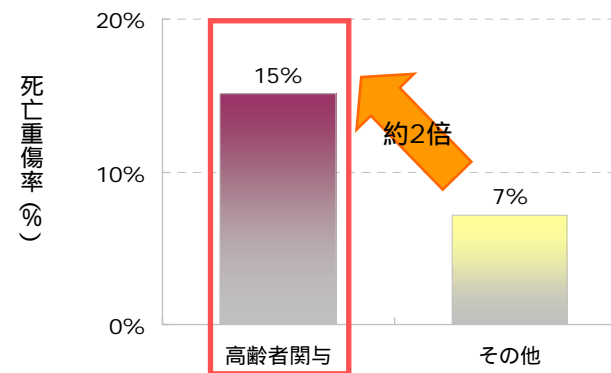
死亡重傷率 : 死亡・重傷事故の死傷事故全体に占める割合(H17~H20の合計事故件数にて算定)

重大事故の発生頻度(岐阜県内幹線道路)



事故類型により死亡重傷率が大きく異なる
(特に、車両単独事故、正面衝突事故、歩行者・自転車事故は死亡重傷率が高い)

重大事故の当事者特性(岐阜県内幹線道路)



高齢者が関与する事故は死亡重傷率が高い

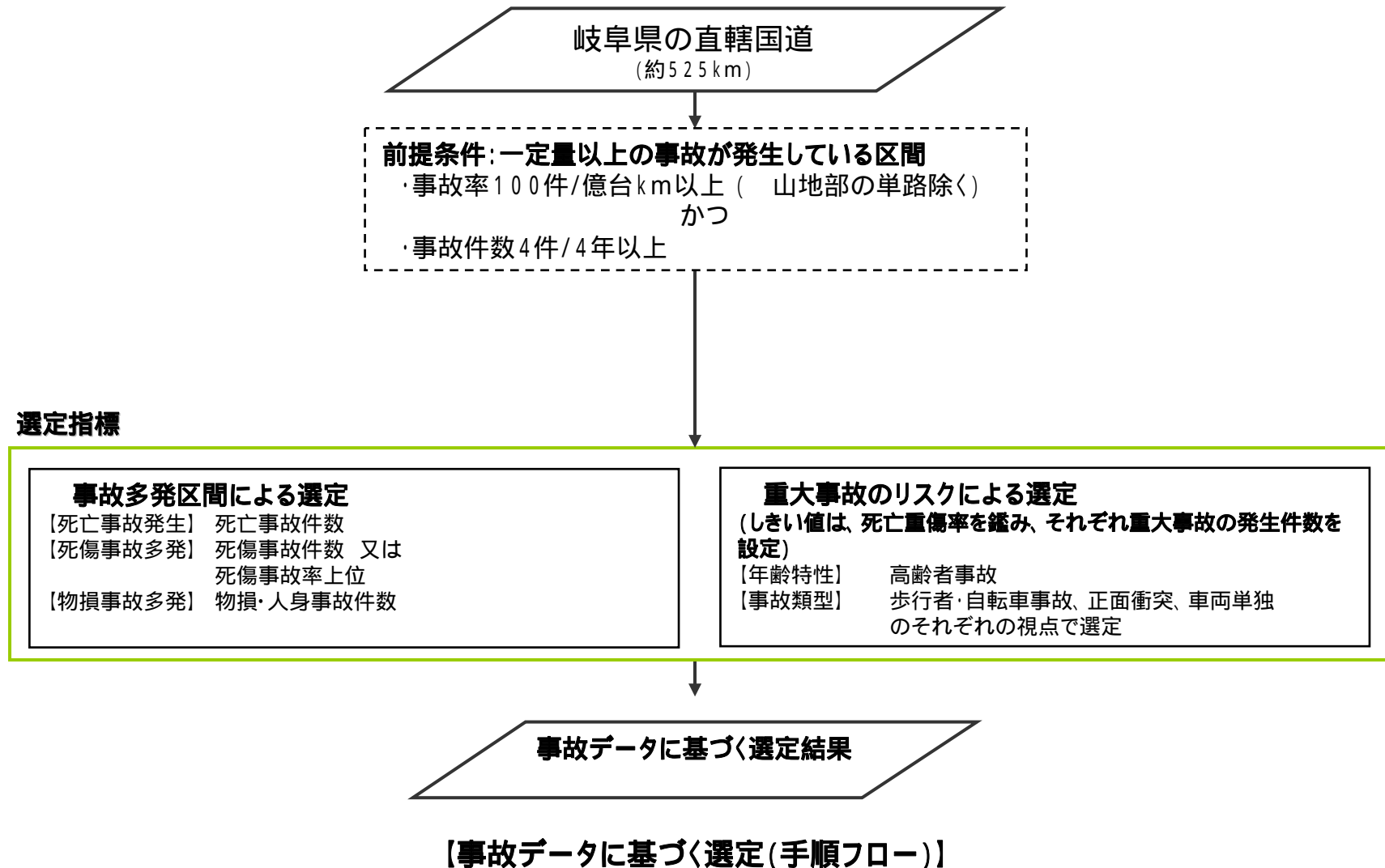
高齢者関与事故: 第1、2当事者のどちらかに65歳以上の当事者が含まれる事故

出典: 交通事故総合データベース(H17~H20)

重大事故を削減していくためには、**当事者(特に高齢者)や事故類型(車両単独事故、正面衝突事故、歩行者・自転車事故)への着目が効率的**

3. 事故データに基づく選定(手順フロー)

効率的な事故対策を実施するために、岐阜県における交通事故特性を反映した指標を用いて、事故データに基づく事故危険区間を選定。

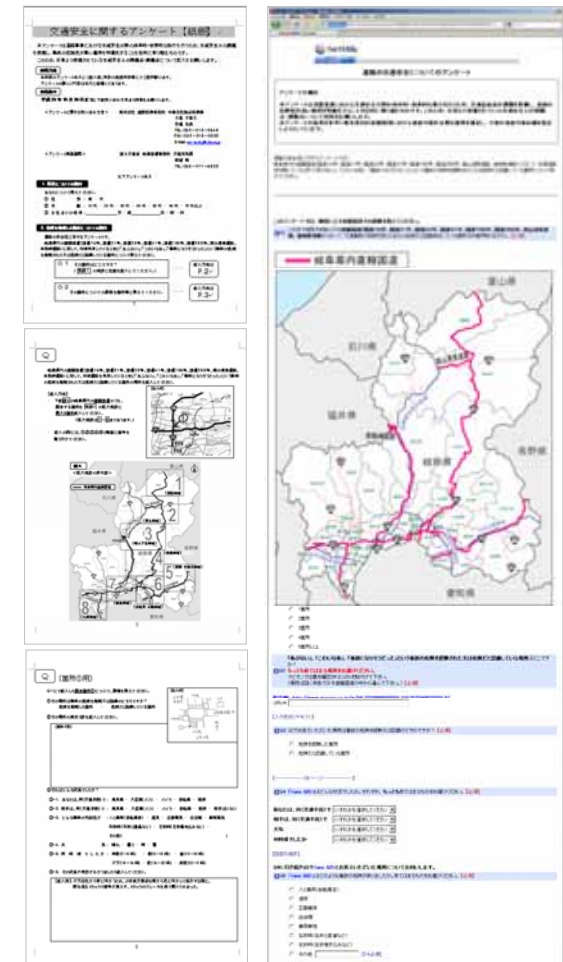


4. 地元からの意見収集(実施状況)

地元や道路利用者の意見を収集するため、アンケート調査を行い、自治体から「安全上問題のある区間」、一般道路利用者や職業ドライバーから「ヒヤリハット体験区間」を収集。収集区間を技術的に確認したうえで、データに基づく選定結果と集約し、活用。

アンケート実施状況

調査区分	設問内容	対象者	実施方法	調査数
自治体	交通安全上の問題点・課題点	市町村	アンケート	14市町村
			既往資料	28市町村
一般道路利用者	ヒヤリハット体験の区間	県内在住者	Webモニター	300 (回収数)
団体等		老人クラブ (高齢者の視点)	アンケート	228件 (配布数) 108件 (回収数)
		女性団体 (女性・母親の視点)		
		トラック協会		
		バス協会		
職業ドライバー		タクシー協会		
JAF				



アンケート(イメージ)